

アスパラガス改植におけるコフナの使用方法

～コフナ・ソーラー法～

ニチモウ株式会社

深層の根の分解と熱による消毒！

アスパラガスは、深く根を張る性質を持ち、改植を行う際に、これらの根が残ると次作に悪影響を与えます。そのために微生物の力を利用して、土の中に残っている根を分解することにより、次作に対して快適な環境を作ります。あわせて高温状態に持ち込むことにより、土の中の病原菌を死滅させることができます。

改植前の状況

福岡県朝倉市



コフナ・ソーラー法の後



2013年8月からコフナ・ソーラー法実施 2014年3月まで被覆
2014年4月撮影

改植スケジュール例

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目	∩		収穫		コフナ・ソーラー法			○	×			
	保温開始		掘り取り			定植			茎葉刈捨て			
2年目	∩		収穫		◎	夏秋芽収穫				×		
	保温開始		立茎			株養成			茎葉刈捨て			

※コフナ・ソーラー法の方法（例）

①コフナMP 20～30袋／反 堆肥 1～2t／反 米ぬか300kg／反 等

②材料混和後散水。地表面をフィルムにて被覆

③単棟ハウスの場合は、完全に閉め切り。温度は最大限上げる。

④3ヶ月以上被覆を継続する。※台風等でフィルムをはずした場合は、改めて被覆を行い、再び温度を上げてください。

※期間を長く出来るのであれば最大限継続してください。過去の実施例からは、3ヶ月より短い場合は、改植が上手くいかない例が出ております。